

第1回 理科教員のための

現代テクノロジー講座

子供たちに伝えよう、身近なテクノロジー



京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス

平成 19 年 12 月 8 日 (土)

13:00~18:00

主催：(社)応用物理学会関西支部
共催：アドバンス物理研究会
後援：京都府教育委員会

<開催の趣旨>

応用物理学会では、青少年の「理科離れ」解消を目的として、児童・生徒を対象に各地で「リフレッシュ理科教室」を開催しています。しかし、私たちの多くは最新テクノロジーの先端的研究に従事しているとはいえ、必ずしも初等・中等教育に経験豊富とはいえません。この企画では中高校の教員の皆さんに最新技術の概要をお伝えして科学技術の面白さを再認識していただくとともに、日頃の理科教育指導に身近なテクノロジーを活用して子供たちの理科への興味を引き出していただくことを願っております。

<プログラム>

13:00~13:15 開会挨拶 【 3号館 0322 講義室 】

13:15~14:45 テクノ講演会：

「微小磁場を測る SQUIDと身近な応用」

講師 永石 竜起 氏

住友電工システムソリューション(株) 機器開発事業部

15:00~16:30 教材研究室：

「太陽電池の現状、将来と教材化」

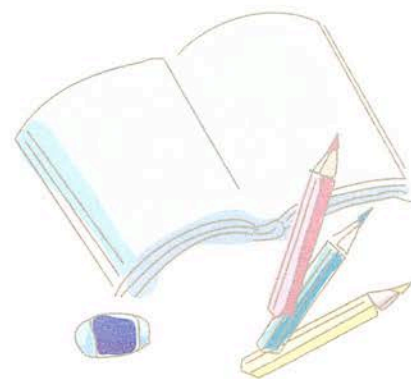
講師 櫻井 啓一郎 氏

産業技術総合研究所 (AIST) 太陽光発電研究センター

16:45~18:00 意見交換・経験交流会 【 生協食堂 】

司会 山崎 敏昭 氏

同志社高等学校



教材研究室

「太陽電池の

現状, 将来と教材化」